

2023年3月期 決算ダイジェスト



目次

1. 損益の状況	1
2. 貸出金の状況	2
3. 信用コストの状況	4
4. 不良債権の状況	5
5. 有価証券の状況	7
6. 預金（譲渡性預金を含む）の状況	9
7. 預り資産の状況	10
8. 自己資本比率	11
9. 業績予想	12

1. 損益の状況

(単位：百万円)

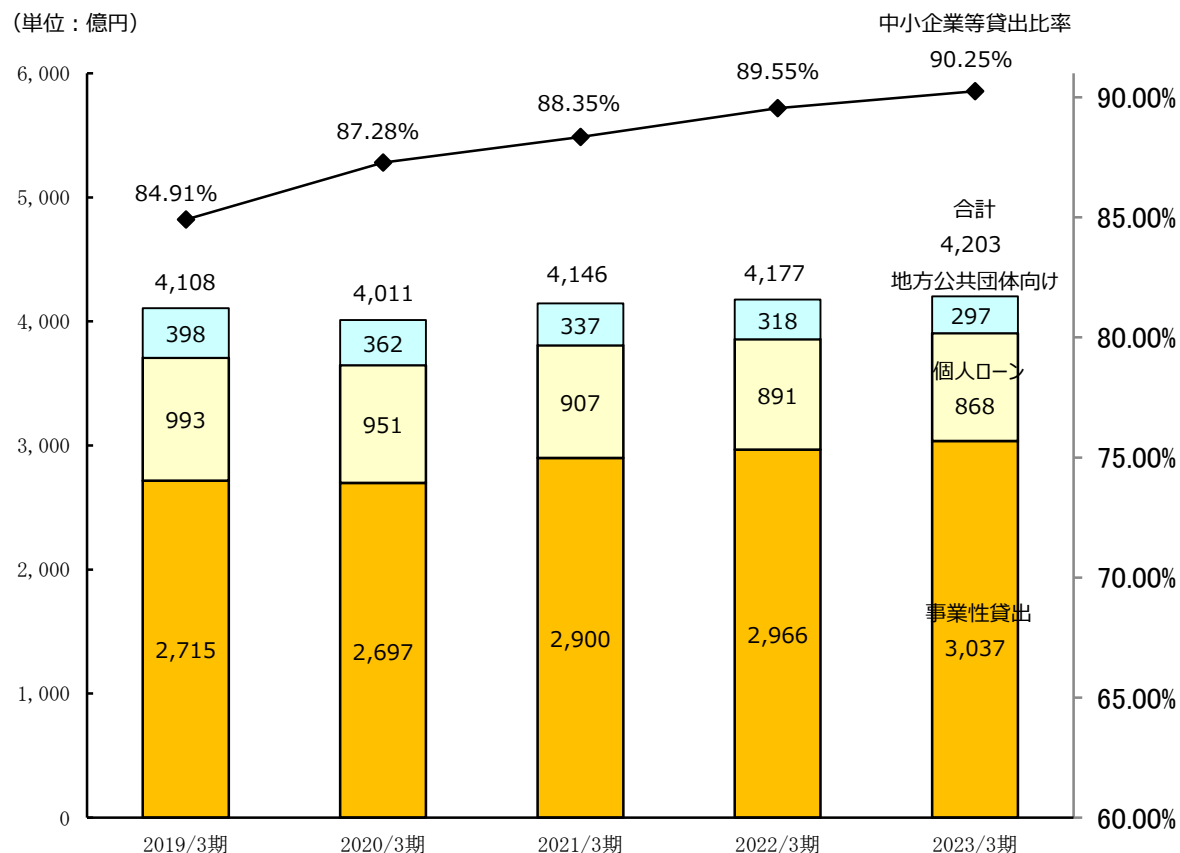
		2023年3月期		2022年3月期
		2022年3月期比		
経常収益	1	9,886	241	9,645
(貸出金利息)	2	7,467	66	7,401
(有価証券利息配当金)	3	533	△ 3	536
(役員取引等収益)	4	1,166	△ 1	1,167
業務粗利益	5	8,025	109	7,916
[コア業務粗利益]	5 - 10	8,089	173	7,915
資金利益	7	8,074	96	7,978
役員取引等利益	8	14	24	△ 10
その他業務利益	9	△ 63	△ 12	△ 51
(国債等債券損益)	10	(△ 63)	(△ 64)	(1)
経費(除く臨時処理分)(△)	11	6,551	△ 29	6,581
(人件費)(△)	12	3,557	26	3,531
(物件費)(△)	13	2,545	△ 23	2,569
一般貸倒引当金繰入額(△)	14	—	—	—
業務純益	5 - 11 - 14	1,474	138	1,335
コア業務純益	6 - 11	1,537	203	1,333
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	17	1,537	203	1,333
臨時損益	18	△ 17	358	△ 375
(不良債権処理額)(△)	19	71	△ 326	397
(貸倒引当金戻入益)	20	218	31	186
(償却債権取立益)	21	160	99	60
(株式等損益)	22	14	92	△ 78
経常利益	23	1,456	497	959
特別損益	24	△ 6	96	△ 102
税引前当期純利益	25	1,450	593	856
法人税等合計(△)	26	147	139	8
当期純利益	27	1,302	453	848
<信用コスト>	14 + 19 (△)	71	△ 326	397

主な増減要因等

項目名	項目番号	前期比 (百万円)	増減要因
経常収益	1	+241	貸出金利息(2)、償却債権取立益(21)の増加等によるもの
コア業務粗利益	6	+173	貸出金利息(2)の増加等に伴い、資金利益(7)が増加したこと等によるもの
経費	11	△ 29	人件費(12)は増加したものの、物件費(13)、税金が減少したことによるもの
コア業務純益	16	+203	コア業務粗利益(6)の増加等によるもの
経常利益	23	+497	不良債権処理額(19)の減少に伴い、臨時損益(18)が増加したこと等によるもの
当期純利益	27	+453	経常利益(23)の増加等によるもの
信用コスト	28	△ 326	不良債権処理額(19)の減少等によるもの

2. 貸出金の状況①

貸出金残高の推移



(単位：百万円,%)

	2023年3月末		2022年3月末
		2022年3月末比	
貸出金残高 ①	420,304	2,561	417,743
事業性貸出	303,719	7,024	296,694
個人ローン ②	86,818	△ 2,360	89,178
住宅ローン	66,404	△ 3,256	69,660
其他ローン	20,413	895	19,517
地方公共団体向け	29,766	△ 2,102	31,869
個人ローン貸出比率 ②÷①	20.65	△ 0.69	21.34
中小企業等貸出残高 ③	379,350	5,221	374,129
中小企業等貸出比率 ③÷①	90.25	0.70	89.55

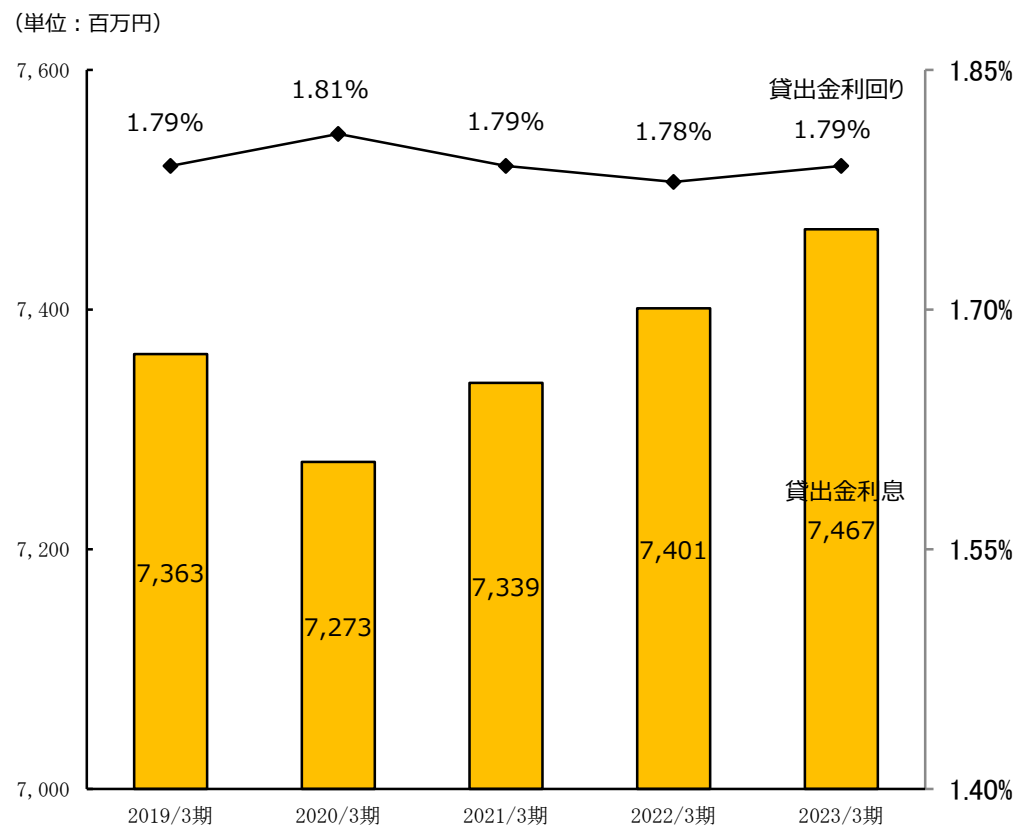
・貸出金残高は個人ローンや地方公共団体向けは減少したものの、事業性貸出の増加（前年度末比70億24百万円の増加）により、前年度末比25億61百万円増加し、4,203億4百万円となりました。

・個人ローンは住宅ローンの減少（前年度末比32億56百万円の減少）等により、23億60百万円減少し、868億18百万円となりました。

・中小企業等貸出残高は、地域の中小企業のお客さまに対する円滑な資金供給に努めた結果、前年度末比52億21百万円増加し、3,793億50百万円となりました。

2. 貸出金の状況②

貸出金利息の推移



(単位：百万円,%)

	2023年3月末		2022年3月末
		2022年3月末比	
貸出金平残	416,773	1,836	414,936
貸出金利息	7,467	66	7,401
貸出金利回り	1.79	0.01	1.78

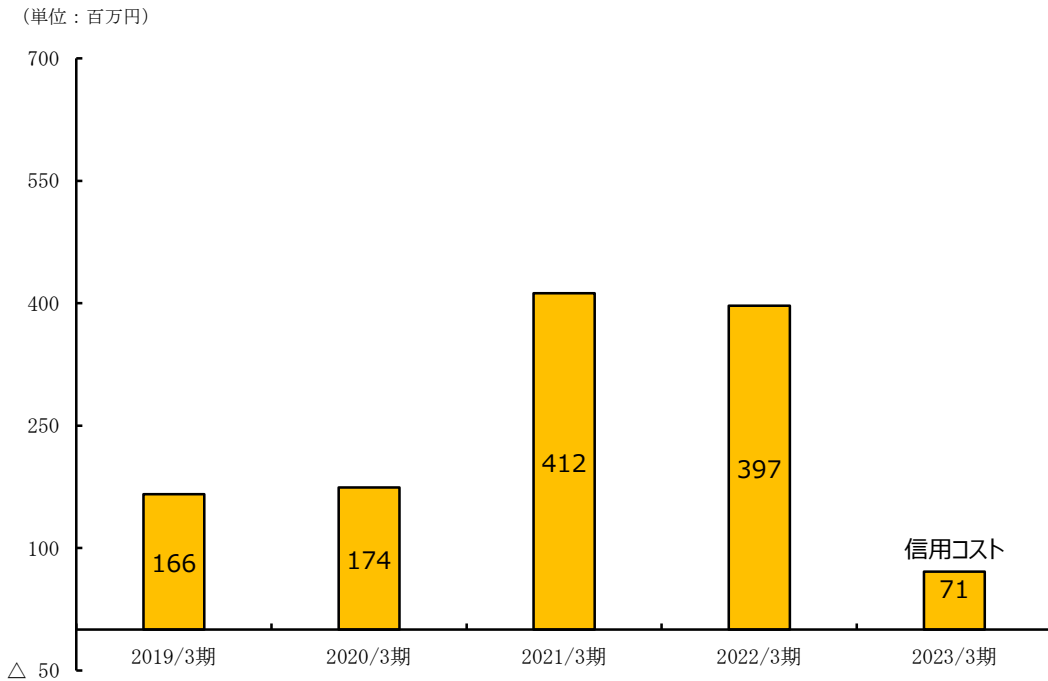
・貸出金平残は前年度末比18億36百万円増加し、4,167億73百万円となりました。

・貸出金利息は貸出金平残の増加や貸出金利回りの改善等により、前年度末比66百万円増加し、74億67百万円となりました。

・なお、貸出金利回りは、貸出金利息の増加等により前年度末比0.01ポイント上昇し、1.79%となりました。

3. 信用コストの状況

信用コストの推移



信用コストの状況

(単位：百万円,%)

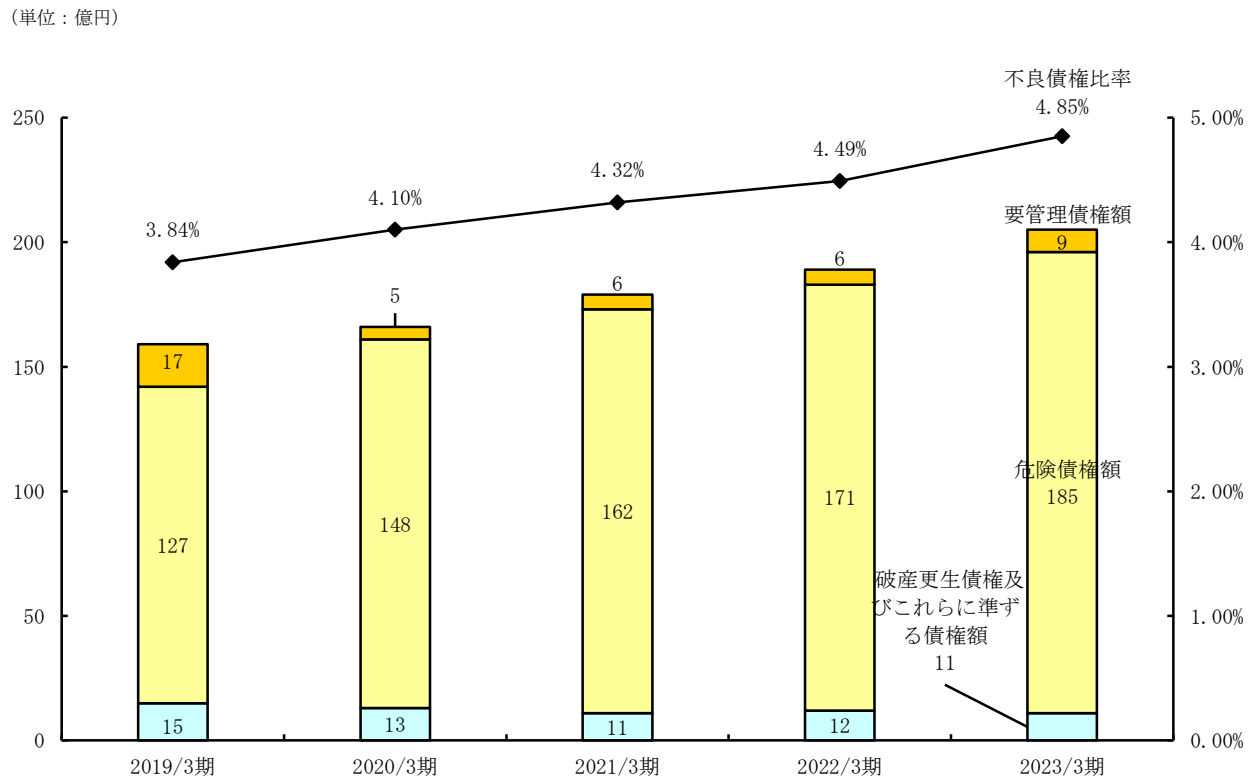
	2023年3月末		2022年3月末
		2022年3月末比	
一般貸倒引当金繰入額 ①	—	—	—
不良債権処理額 ②	71	△ 326	397
貸出金償却	432	△ 191	623
個別貸倒引当金繰入額	—	—	—
債権売却損益	1	0	1
貸倒引当金戻入益	218	31	186
償却債権取立益	160	99	60
その他不良債権処理額	19	△ 2	22
信用コスト ① + ②	71	△ 326	397

(注) 不良債権処理額 = 貸出金償却 + 個別貸倒引当金繰入額 - 債権売却損益 - 貸倒引当金戻入益 - 償却債権取立益 + その他不良債権処理額

信用コストは、貸出金償却の減少、償却債権取立益の増加等により、前年度末比3億26百万円減少の71百万円となりました。

4. 不良債権の状況①

不良債権残高及び比率の推移



不良債権（金融再生法開示債権）の状況 (単位：百万円,%)

	2023年3月末		2022年3月末
		2022年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権額	1,133	△ 90	1,224
危険債権額	18,581	1,455	17,126
要管理債権額	900	276	623
三月以上延滞債権額	—	—	—
貸出条件緩和債権額	900	276	623
不良債権残高計①	20,615	1,640	18,975
正常債権額	403,877	574	403,303
総与信額②	424,493	2,214	422,278
不良債権比率① ÷ ②	4.85	0.36	4.49
保全率	66.86	△ 3.26	70.12

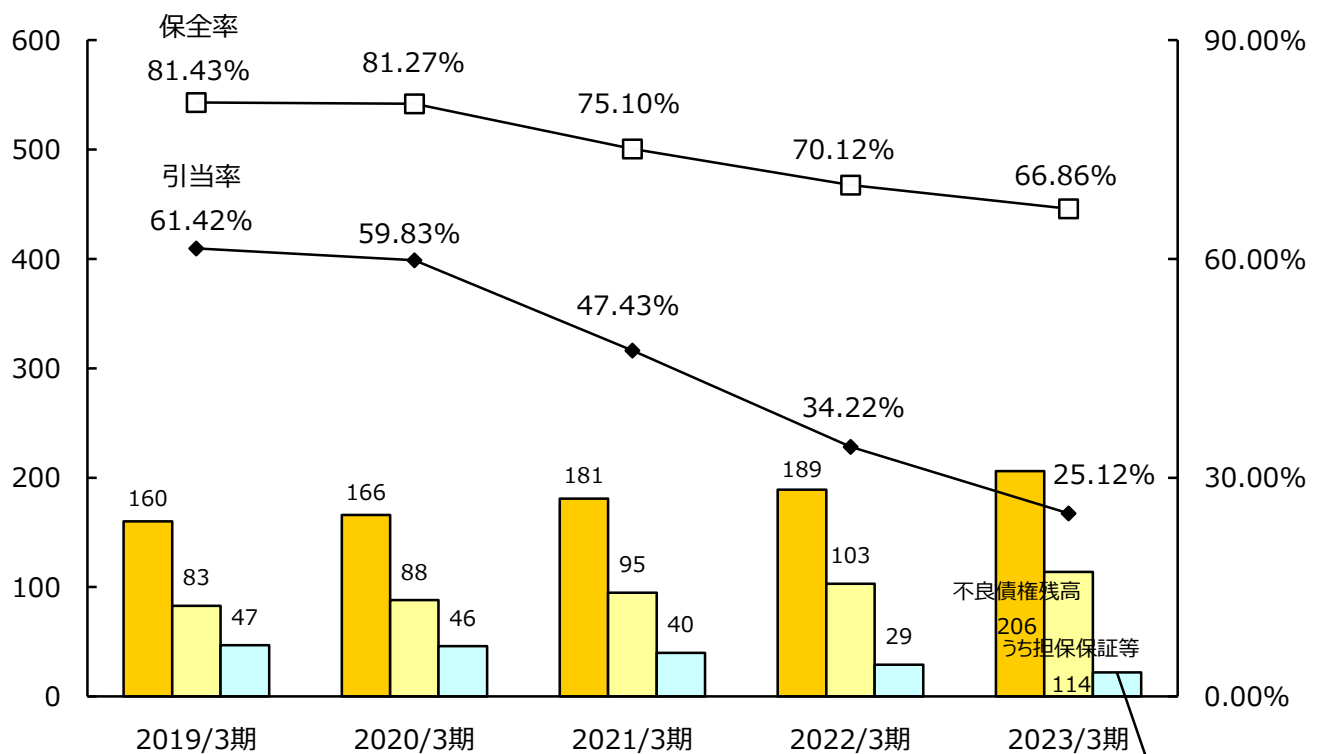
・コロナ禍の長期化や原材料費の高騰等により、収益力の回復が必要なお客さまに対し、実態に即した経営改善や財務改善を後押しする金融支援を可能とするため、適切な引当てを行いながら、お客さまの事業再生に取り組んだ結果、不良債権残高は、前年度末比16億40百万円増加し、206億15百万円となりました。

・不良債権比率は、前年度末比0.36ポイント上昇し、4.85%となりました。なお、部分直接償却を実施しない場合の同比率は5.57%となります。

4. 不良債権の状況②

引当率等の推移

(単位：億円)



不良債権（金融再生法開示債権）の保全状況 (単位：百万円,%)

	2023年3月末		2022年3月末
		2022年3月末比	
不良債権残高 A	20,615	1,640	18,975
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,133	△ 90	1,224
危険債権	18,581	1,455	17,126
要管理債権	900	276	623
保全額 B+C	13,785	478	13,306
担保保証等 B	11,493	1,137	10,356
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,018	△ 67	1,086
危険債権	10,251	1,110	9,140
要管理債権	223	93	129
貸倒引当金 C	2,291	△ 658	2,950
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	115	△ 23	138
危険債権	2,095	△ 624	2,719
要管理債権	81	△ 10	92
引当率 C/(A-B)	25.12	△ 9.10	34.22
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	100.00	—	100.00
危険債権	25.15	△ 8.90	34.05
要管理債権	12.02	△ 6.65	18.67
保全率 (B+C)/A	66.86	△ 3.26	70.12
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	100.00	—	100.00
危険債権	66.44	△ 2.80	69.24
要管理債権	33.86	△ 1.70	35.56

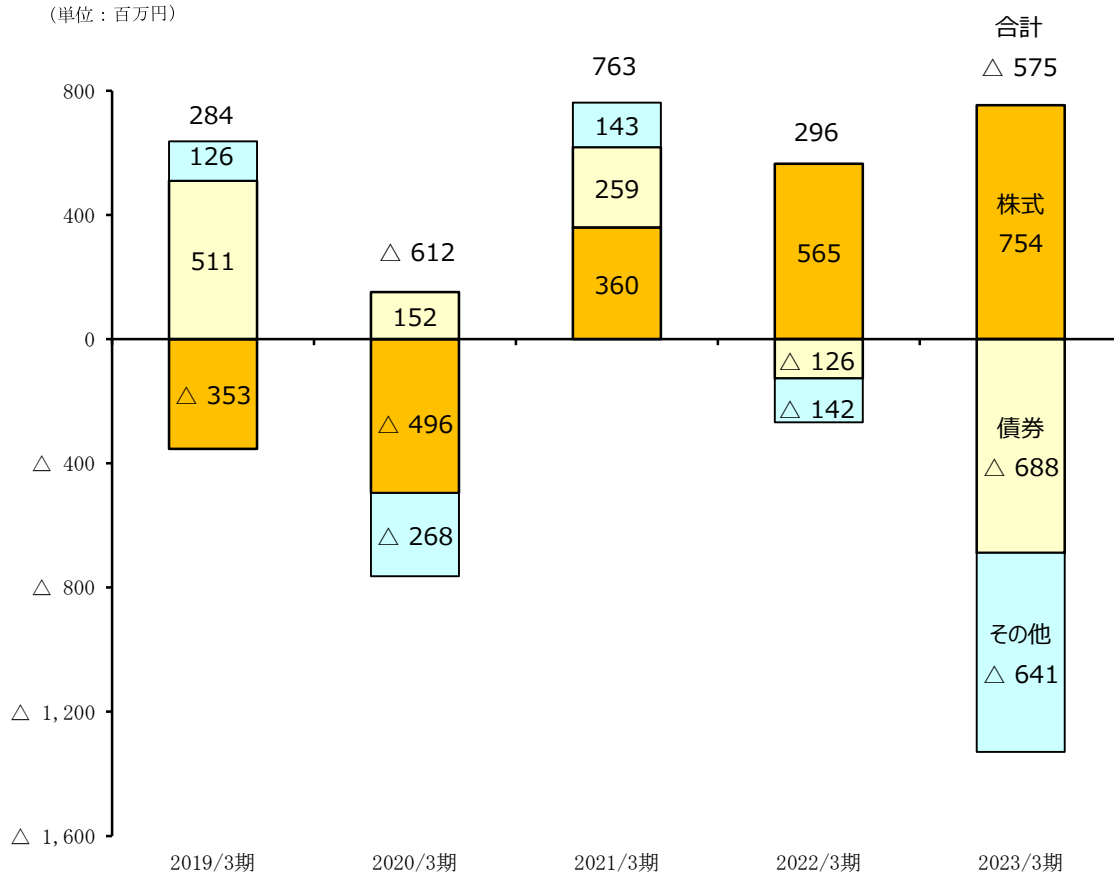
・不良債権の引当率は、前年度末比9.10ポイント低下し、25.12%となりました。

・不良債権の保全率は、前年度末比3.26ポイント低下し、66.86%となりました。

うち貸倒引当金 22

5. 有価証券の状況①

有価証券評価差額の推移



評価差額

(単位：百万円)

	2023年3月末		2022年3月末
		2022年3月末比	
有価証券	△ 575	△ 871	296
株式	754	189	565
債券	△ 688	△ 562	△ 126
その他	△ 641	△ 498	△ 142

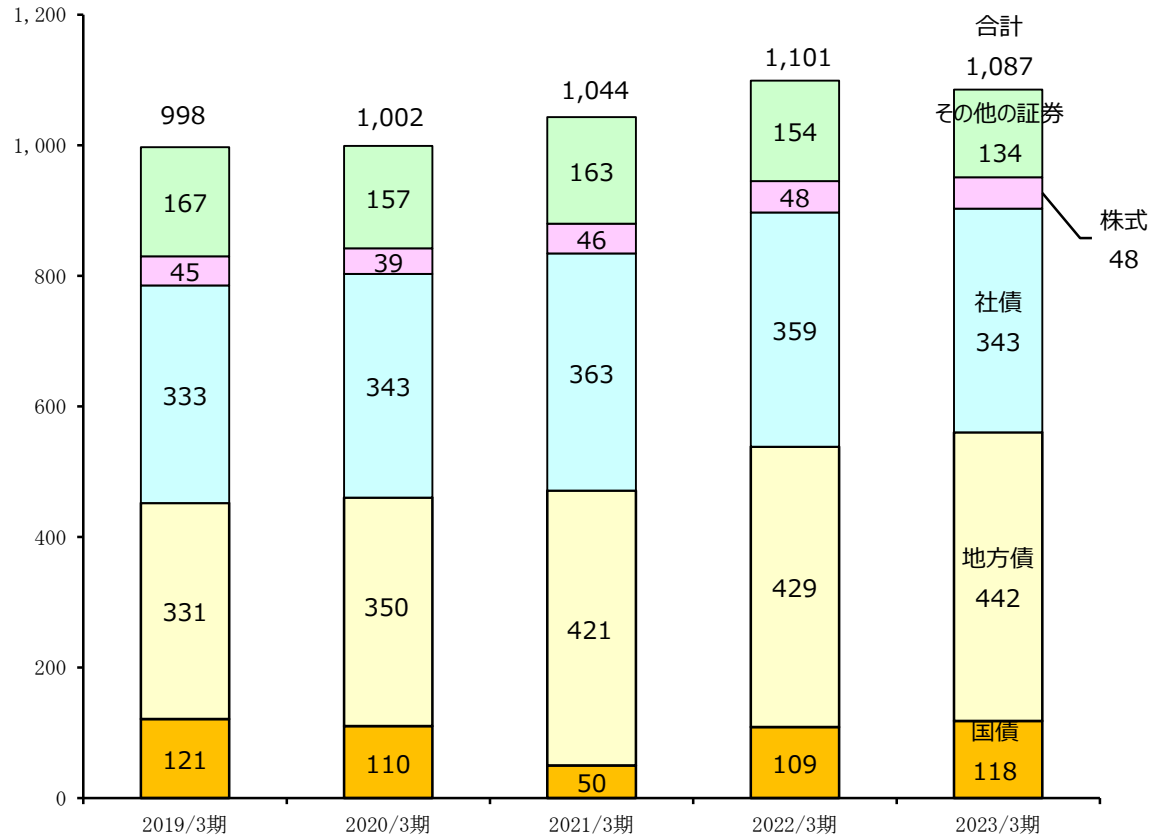
・金利上昇に伴う債券価格の下落等により、債券及びその他の証券の評価損は拡大しましたが、株式の評価差額は754百万円の評価益となりました。

・有価証券の評価差額全体では前年度末比8億71百万円減少し、5億75百万円の評価損となりました。

5. 有価証券の状況②

有価証券残高の推移

(単位：億円)



残高

(単位：百万円)

	2023年3月末		2022年3月末
		2022年3月末比	
有価証券	108,765	△ 1,395	110,161
国債	11,877	917	10,960
地方債	44,232	1,292	42,939
社債	34,328	△ 1,664	35,992
株式	4,849	△ 5	4,855
その他の証券	13,476	△ 1,936	15,413

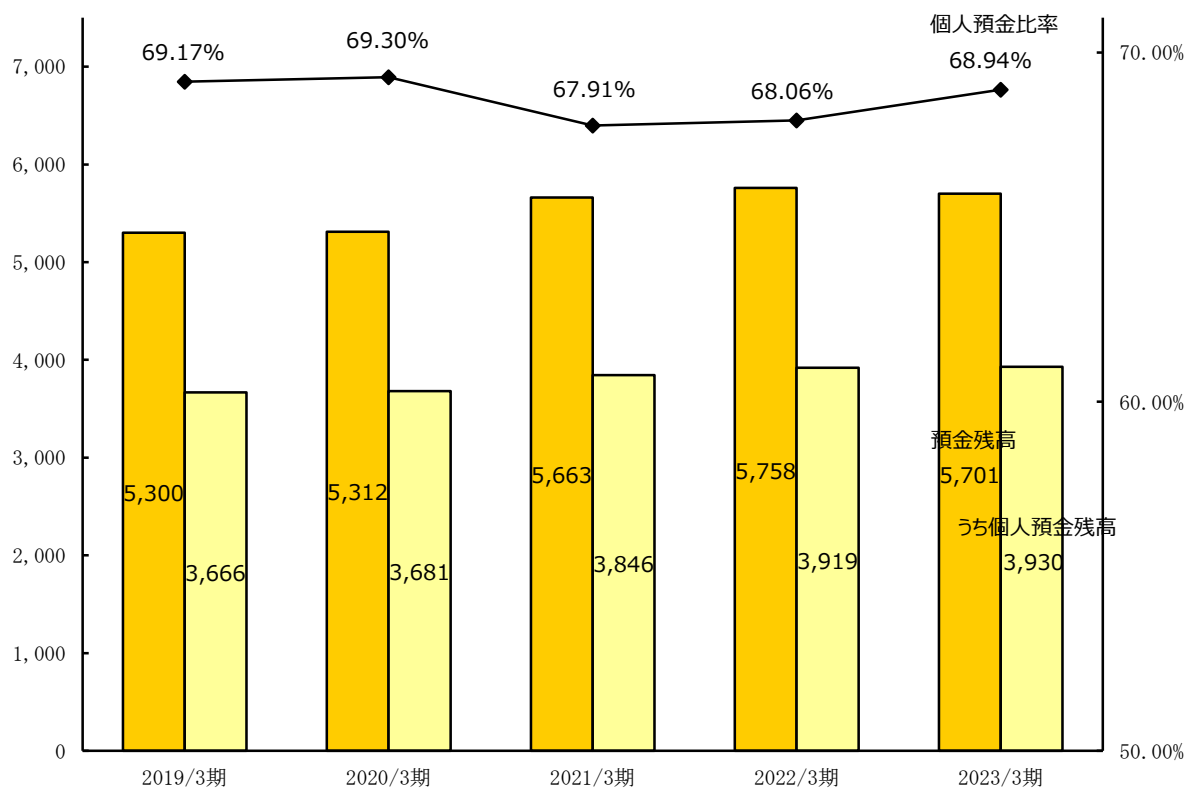
・有価証券残高は前年度末比13億95百万円減少し、1,087億65百万円となりました。

・なお、債券のデュレーションは前年度末比0.26年短縮化され、4.14年となりました。

6. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

預金残高の推移

(単位：億円)



(単位：百万円,%)

	2023年3月末		2022年3月末
		2022年3月末比	
預金残高 ①	570,100	△ 5,782	575,883
個人預金 ②	393,055	1,084	391,971
法人預金	177,044	△ 6,867	183,912
個人預金比率 ②÷①	68.94	0.88	68.06
大分県内預金残高	549,666	△ 2,648	552,314

(注) 1. 預金には譲渡性預金を含んでおります。

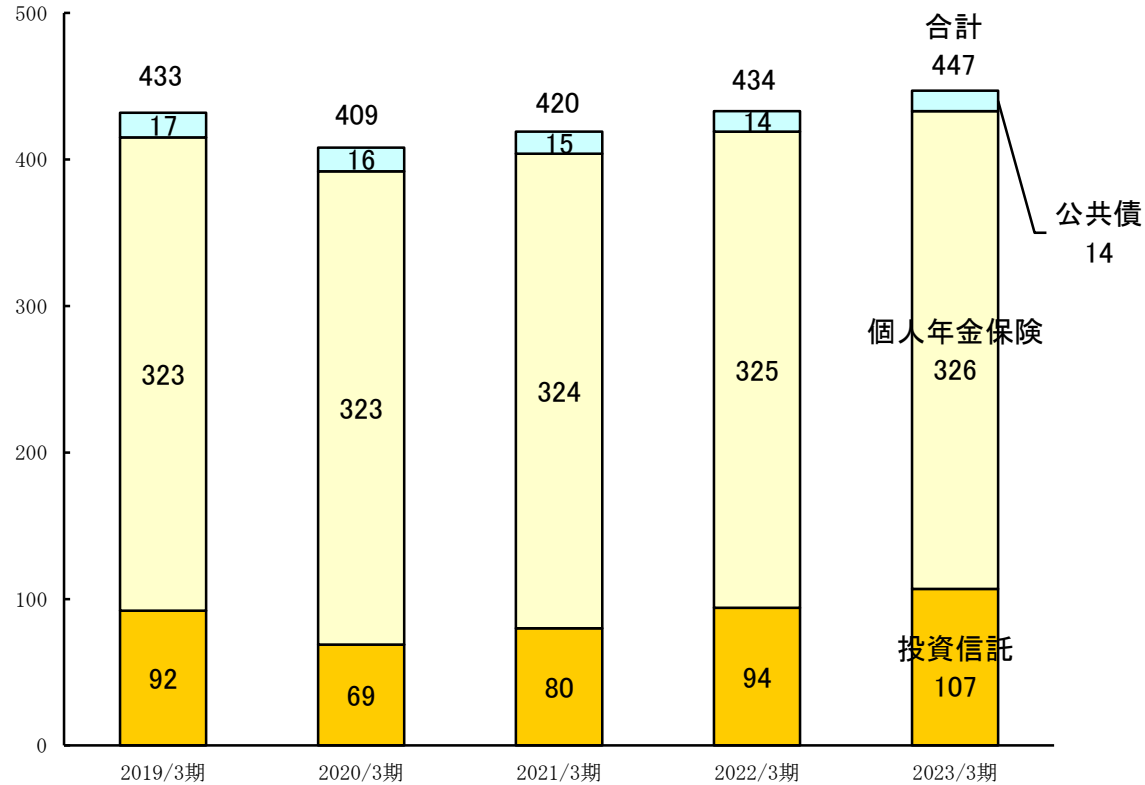
(注) 2. 「法人預金」 = 一般法人預金 + 金融機関預金 + 公金預金

・個人預金残高は増加したものの、公金預金（主に譲渡性預金）が減少したことから、法人預金残高が減少し、預金残高は前年度末比57億82百万円減少し、5,701億0百万円となりました。

7. 預り資産の状況

預り資産残高の推移

(単位：億円)



(単位：百万円)

	2023年3月末		2022年3月末
	2022年3月末比		
預り資産残高	44,793	1,335	43,457
投資信託	10,715	1,303	9,412
個人年金保険	32,657	69	32,587
公共債	1,420	△ 37	1,457

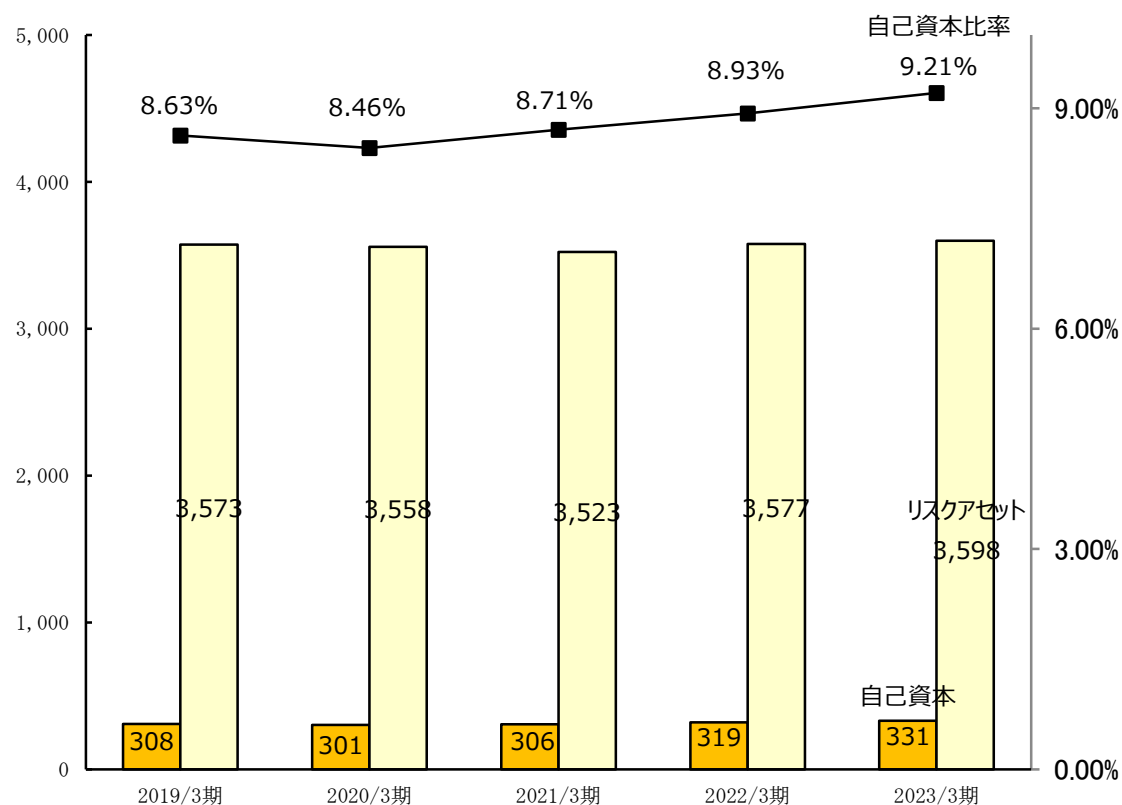
(注) 個人年金保険商品については、残高の把握が困難なことから、販売累計額を使用しております。

・投資信託残高は2022年3月末比13億3百万円増加、個人年金保険は同69百万円増加しました。

8. 自己資本比率

自己資本比率の推移

(単位：億円)



(単位：百万円,%)

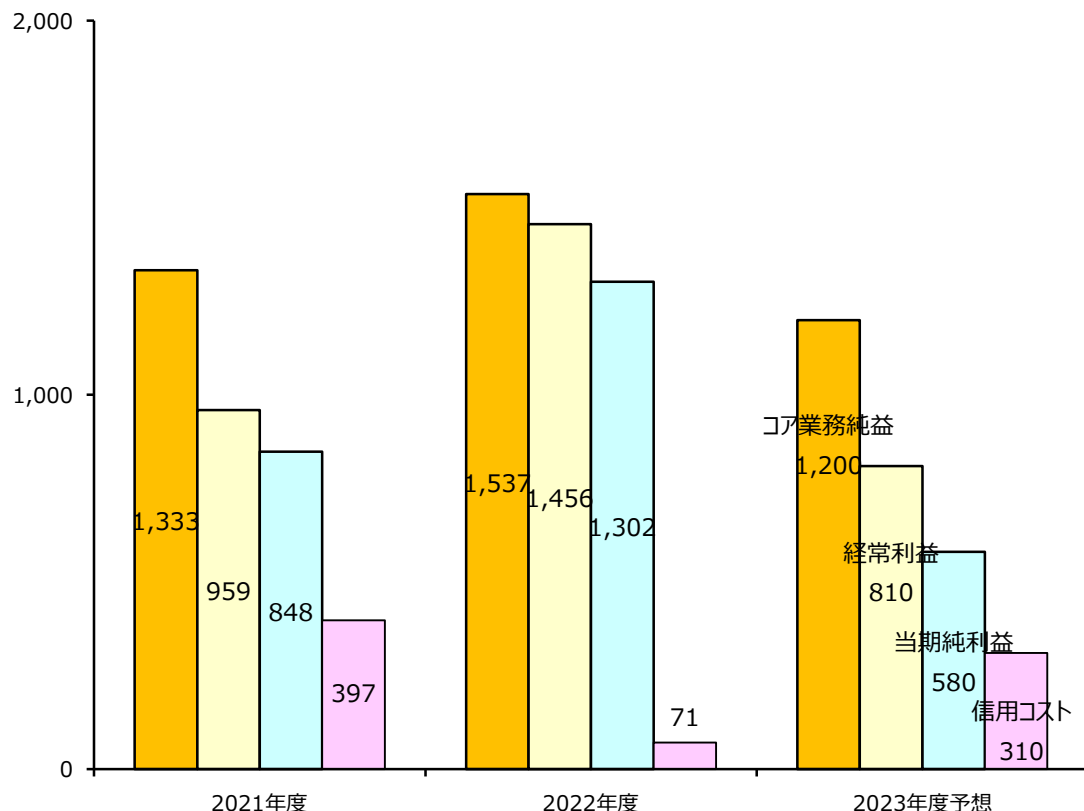
	2023年3月末 [速報値]		2022年3月末
		2022年3月末比	
自己資本比率 ① ÷ ②	9.21	0.28	8.93
自己資本 ①	33,176	1,202	31,974
リスクアセット ②	359,856	2,132	357,723

・自己資本額が12億2百万円増加し、リスクアセットが21億32百万円増加した結果、自己資本比率は同0.28ポイント上昇の9.21%となりました。

9. 業績予想

業績(予想)の推移

(単位：百万円)



(単位：百万円)

	2022年度 第2四半期 累計期間実績	2023年度 第2四半期 累計期間予想	2022年度 実績	2023年度 通期予想	増減
経常利益	530	330	1,456	810	△ 646
当期(中間)純利益	474	230	1,302	580	△ 722
業務純益	739	530	1,474	1,190	△ 284
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	739	470	1,474	1,110	△ 364
コア業務純益	719	560	1,537	1,200	△ 337
信用コスト	206	160	71	310	239
(一般貸倒引当金繰入額)	—	△ 60	—	△ 80	△ 80
(不良債権処理額)	206	220	71	390	319

(注)業績予想については、当行が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・2023年度の経常利益は処遇改善による人件費や紙幣改刷に伴うシステム投資による物件費が増加することから、前年度末比6億46百万円減少の8億10百万円を見込んでおります。

・当期純利益は前年度末比7億22百万円減少の5億80百万円を見込んでおります。